※令和４年度以降入学生用

学校番号	3034

令和８年度　国語科

教科	国語	科目	国語演習（文）	単位数	２単位	年次	３年次
使用教科書							
副教材等	「上級現代文Ⅰ　改訂版」（桐原書店）						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・国公立大学二次試験を想定したハイレベルな記述演習を中心とした授業です。現代文を扱います。
・限られた時間内で素早く、かつ要素を捉えた答案を作成する力が求められますが、その力を着実に修得するためにも復習は丁寧に行いましょう。
・様々なテーマに触れて知見を広め、現代社会の課題について多様な視座を持って考えを深めていきましょう。

2　学習の到達目標

・難関国公立大学の二次試験レベルの記述問題で要素を捉えた答案を作成できるようになる。
・現代文を正確に読解できるようになる。
・文章を読み疑問を持った事柄について、主体的に調査し、課題解決に向けて努力する。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a　知識・技能	b　思考・判断・表現	c　主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	論理的、批判的に考える力を伸ばすとともに、創造的に考える力を養い、他者との関わり合いの中で深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばしている。また、我が国の伝統的な言語文化に対する理解を深めている。	文章の種類をふまえて、構成や展開などを的確にとらえている。また、伝えたいことが伝わるように書かれているかなどを吟味して、文章全体を整えたり、読み手からの助言などを踏まえて、自分の文章の特長や課題を捉え直したりしている。	生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付ける中で、我が国の言語文化に対する理解を深めるとともに、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりしようとしている。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

※令和４年度以降入学生用

※表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度

学期	単元の学習内容	単元の評価規準	評価方法		
			知(a)	思(b)	主(c)
一学期	文章の種類に基づく効果的な段落の構造や論の形式など、文章の構成や展開の仕方について理解を深める。 ［教材］ 国公立大学過去問題	a:情報を重要度や抽象度などによって階層化して整理する方法について理解を深めている。 b[読]:文章の種類をふまえて、内容や構成、論理の展開などを的確にとらえ、論点を明確にしながら要旨を把握している。 c:生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けようとしている。	確認テスト	確認テスト	ノート ポートフォリオ
二学期	個々の文の表現の仕方や段落の構造を吟味するなど、文章全体の論理の明晰さを確かめている。 ［教材］ 国公立大学過去問題	a:主張とその前提や反証など情報と情報との関係について理解を深めている。 b[読]:文章の構成や論理の展開、表現の仕方について、書き手の意図との関係において多面的・多角的な視点から評価している。 c:生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けようとしている。	確認テスト	確認テスト	ノート ポートフォリオ
三学期	関連する文章や資料を基に、書き手の立場や目的を考えながら、内容の解釈を深める。 ［教材］ 国公立大学過去問題	a:推論の仕方について理解を深めている。 b[読]:設定した題材に関連する複数の文章や資料を基に、必要な情報を関係づけて自分の考えを広げたり深めたりしている。 c:生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けようとしている。	確認テスト	確認テスト	ノート ポートフォリオ

※単元の評価規準[ｂ]について…括弧内には[　話／聞、書、読　]のどれか一つを記入して下さい。

※年間の各領域時間数

・話すこと／聞くこと　…　（　０　）時間

・書くこと　…　（　３８　）時間

・読むこと　…　（　６０　）時間